



寄居ロータリークラブ

YORII ROTARY CLUB

会報



R.I.会長
ジェニファーE.ジョーンズ
第2570地区ガバナー
村田 貴紀
第4グループガバナー補佐
金井 福則



令和4年7月13日(水)

会場 料亭 園

第2664回例会

司会 橋本 則彦 (SAA)

点鐘 津久井 大雄会長 (12:30)

ソング 奉仕の理想

お客様 第4グループガバナー補佐 金井 福則さん

1. 会長の時間

津久井 大雄さん

皆さん、こんにちは。最初に、2570地区から委嘱状と感謝状が届いておりますので、お渡ししたいと思います。赤坂匠康さん、松本則之さん、前のほうにお願いします。まず赤坂さんに委嘱状です。国際ロータリー第2570地区寄居ロータリークラブ 赤坂匠康殿 貴殿を下記奨学生のカウンセラーに委嘱申し上げます。奨学生 ヌルル シャキラ ビンディ ジャメル(マレーシア)



東京電機大学 3月31日までよろしくお願いします。そして、松本則之さんに感謝状です。感謝状 松本則之殿 貴殿は公益財団法人ロータリー米山記念奨学生のカウンセラーとしてご奉仕くださいました。お疲れ様でした。

さて、安部元総理が8日に銃撃されお亡くなりになりました。あれほど国民に愛されている総理はおそらくいなかったのではないかと思います。まさかこの日本で銃撃による暗殺があるとは思わなかったのではないかと思います。その日、私も涙してしまいました。本当に心からご冥福をお祈り申し上げます。長い間、日本国内、また世界各国の繋がり、日本の首相としての在職期間は通算3188日と聞いております。外交関係や、また消費税増税、アベノミクス、拉致問題、東京オリンピックの誘致など、本当に数えきれない思い出がありました。本当に寂しく思います。参議院の選挙も終わり、今、通常通りのイベントが動き始めています。しかし、またコロナも少しずつ増えてきているような感じがいたします。コロナ禍で失った企業等いろいろなことがありますが、何よりもかわいそうなのは子どもたちではないかと思います。卒業式、修学旅行、また入学式等がなかったいろいろなところで聞いて

おります。寄居ロータリーではアベノマスクに代わりまして、ロータリーマスクをつけていただきまして、コロナを予防していただければ幸いです。よろしくお願いします。

次週は休会となっております。また、再来週はガバナー公式訪問が予定されております。ガバナー訪問では、皆様方にはジャケットの着用をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

本日は、金井ガバナー補佐がお見えです。時間は十分とっておりますので、このあと、ロータリーについていろいろお話しをしていただけたと思いますので、皆様方よろしくをお願いいたします。

会長の時間は以上です。ありがとうございました。

2. 幹事報告

松本 則之さん

皆さん、こんにちは。金井ガバナー補佐、本日はありがとうございます。一年間、よろしくお願い申し上げます。

次回、7月27日にガバナー公式訪問がシティプラザ寄居でございます。服装は先ほど会長からお話しがありました通り、ジャケットの着用をお願いいたします。ネクタイについては、会長、幹事は義務ですが、皆さんはどちらでもよいということになります。最後に集合写真を撮りますので、ビシッと撮りたい方はぜひネクタイを着用していただければと思います。

米山奨学委員会より寄付のお願いが来ておりますが、詳細は次の例会で委員長から詳しくご報告させていただきますと思います。

今年度、上半期の年会費の納入がまだの方はお早めに事務局へ持参、または振込にてよろしくお願い申し上げます。

2570 パスポートRCより、オープン例会のご案内です。日時は本日13日、19時から20時30分。ZOOMを利用してのオープン例会です。講師は瀬戸川礼子さん。

経営ジャーナリスト・中小企業診断士の方です。興味のある方はぜひご視聴いただければと思います。

このあと、クラブ協議会でございます。3つのグループに分かれて討議していただきます。それぞれリーダーは決めておりましたが、討議した内容をまとめていただいて、文章化して事務局に提出していただきたいと思えます。リーダーがまとめることは難しいので、書記兼まとめる係としまして次の方をご指名させていただきます。第1グループが高倉さん、第2グループが吉田昌弘さん、第3グループが小鮎さん。以上の方はよろしくお願ひします。もしも所用で早退される方は、他の方に引継ぎをお願いしていただければと思います。まとめたものを事務局にご持参、ファックス、あるいはメールで送っていただいて、それを地区事務所に提出する事になります。何卒よろしくお願ひします。その内容を次回のガバナー公式訪問の際に、グループリーダーから発表していただきますので、これを併せてお願ひいたします。

以上で幹事報告を終わります。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会 浅見 克一さん

皆さん、こんにちは。今日は小宮委員長が欠席でございますので、私が代理で発表させていただきます。その前に、金井ガバナー補佐さん、本日はいろいろとご指導よろしくお願ひいたします。

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
7月13日	32	5	27	1	87.50%
7月6日の修正出席率					90.62%

(2) ニコニコボックス委員会 松本 幸男さん

皆さん、こんにちは。本日も元気よくニコニコボックスを紹介していきたいと思えます。

津久井大雄さん 金井福則ガバナー補佐、寄居ロータリークラブへようこそ。ご指導よろしくお願ひいたします。

松本則之さん 金井福則ガバナー補佐、寄居RCへようこそ。今後ご指導よろしくお願ひいたします。

松本則之さん 園さんのお食事が最高だったため、もう1枚追加です。特に肉が絶品です。欠かせない一品として今後よろしくお願ひします。

赤坂匠康さん 金井ガバナー補佐様、寄居ロータリーへようこそ。本日はご指導よろしくお願ひいたします。

赤坂匠康さん ドイツ自動車工業会に弊社単独で認めて

いただきました。遠回りしたけどメダシメデタシ！！

荻野幸一さん ガバナー補佐金井福則さん、本日はご指導よろしくお願ひします。

浅見克一さん 当寄居クラブも新会員が増えております。改めて、ご指導よろしくお願ひいたします。

山口正彦さん 金井ガバナー補佐、ようこそ寄居へ。ようこそ料亭園へ。本日、よろしくお願ひいたします。

柴崎 猛さん 金井ガバナー補佐、本日はお世話になります。

清水浩一さん ガバナー補佐金井様、心労のところ寄居RCへようこそ。ご指導よろしくお願ひいたします。

加藤祐司さん ガバナー補佐金井福則様、ようこそ寄居ロータリークラブへ。本日はご指導よろしくお願ひいたします。

安齋治一郎さん 金井ガバナー補佐様、ようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願ひします。

荻野真仁さん 金井ガバナー補佐様、本日ご指導よろしくお願ひいたします。

橋本則彦さん 金井ガバナー補佐、寄居ロータリーへようこそ。本日はお世話になります。

下条 誠さん 金井ガバナー補佐、本日はご指導よろしくお願ひします。

森田淳一さん 金井ガバナー補佐様ようこそ寄居ロータリークラブへ。本日はご指導のほどよろしくお願ひいたします。

森田淳一さん 前回お休みした為。

吉田昌弘さん 金井ガバナー補佐様、ようこそ寄居ロータリークラブへお越しいいただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

小鮎哲夫さん 金井ガバナー補佐、ようこそ寄居RCへ。本日はよろしくお願ひします。

高田 徹さん 金井ガバナー補佐、ようこそ寄居ロータリークラブへ。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

高田 徹さん 前回欠席でしたので。

権田 功さん 金井ガバナー補佐様、本日はよろしくお願ひします。

高倉隆綱さん 本日、早退させていただきます。

松本幸男さん ガバナー補佐金井福則様、寄居ロータリークラブへお越しいいただき誠にありがとうございます。本日はご指導のほどよろしくお願ひいたします。

津久井大雄会長

このあとですが、金井ガバナー補佐の卓話を聞いて、

そのあとクラブ協議会に移ります。よろしく願いいたします。

最初に金井ガバナー補佐の紹介をいたします。本庄ロータリークラブ所属。1960年2月3日生まれ。62歳。株式会社SSビデオ企画 代表取締役。2006年度入会。本庄ロータリークラブでは、広報、親睦等の委員会に所属し、2014年にはIMの副実行委員長を歴任いたしました。2016年には2570地区の会員増強委員長を歴任。2021年には本庄ロータリークラブ会長としてご指導していただきました。当時、第4グループの委員会会議では赤坂さん、そして私もいろいろと教わりまして、本当にありがとうございました。本年度より第4グループガバナー補佐としてご活躍しております。

時間はたっぷりとってございますので、金井様よろしく願いいたします。

「卓 話」

第4グループガバナー補佐 金井 福則さん

皆さん、こんにちは。本年度、第4グループのガバナー補佐を指名いただき、本庄ロータリークラブより出向



します金井福則と申します。よろしく願いいたします。先ほどは会長より詳しくご紹介していただきまして、ありがとうございました。昨年は、赤坂前会長と津久井会長には非常にお世話になりました。ありがとうございました。また、今年もよろしく願いいたします。

例会前に津久井会長さんから、寄居さんは例会の出席率が90%くらいということをお聞きしました。先ほどの発表でも87.5%ということで、第4グループで一番出席率がいいクラブなのではないかと思いました。もちろん、会員数が3名の児玉さんがおりまして、3名の会員さんが出席できる日に開催しますので100%ですが、寄居さんは本当に凄いなと感じた次第であります。

本日はクラブ協議会もございまして、30分のお時間をいただきましたが、短めに進めたいと思います。進めていく上におきまして、レジュメを用意いたしましたので、それに沿って進めていきたいと思います。大きく分けて5つに区切ってあります。

初めに、今年度の国際ロータリー会長 ジェニファー E.ジョーンズさんですが、カナダ、オンタリオ州の方です。国際ロータリー初の女性会長であります。ジェニファーさんはテーマとして「イマジジンロータリー」ということを掲げております。話しは脱線いたしますが、チャップリンの映画に「ライムライト」という映画がございまして、一人の女性がバレリーナを目指していくのですが、行き詰りまして自殺を考えたときに、チャップリンが「少々のお金と勇気と想像力があれば人間は生きてい

けるのだよ」と彼女に伝えました。女性は最後に飛躍します。想像力があれば人間は生きていける、要はイマジジンですね。RI会長は「ポリオがない世界をイメージしてください。それには今、何をすべきか」ということを考えて行動しましょうという事だと思います。次回の村田ガバナー公式訪問のときに深く話しをされると思います。

次に、地区の村田ガバナーの地区テーマとして「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう！」ということを掲げております。これはまた次回の例会で詳しくお話しされると思います。

次に、第4グループガバナー補佐の方針を一応掲げさせていただきます。村田貴紀ガバナーは「地域世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう！」と地区スローガンに掲げました。そのテーマに沿って、第4グループのテーマは「奉仕と親睦」にさせていただきます。ロータリーの主軸価値観の中に、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップがありますが、その中で奉仕と親睦を掘り下げてみたいと思います。私は、奉仕と親睦を車で例えると、車の両輪だと捉えております。一重で奉仕するよりも大勢で奉仕活動をしたほうがより一層大きな奉仕活動ができると思います。一滴の水も集まれば川になるように、そのためにより一層の強力な会員同士の親睦が必要であると思います。今年度、第4グループは全体が各クラブ同士のより一層の親睦を深め、第4グループがより大きな一枚岩になるように心がけていきたいと思います。そして、各クラブがより一層の大きな奉仕活動につながりを支援していきたいと思います。奉仕をすると同時に親睦をしないと、大きな奉仕活動はできないのかなと思っております。私は、ロータリーに入会する時に奉仕をしようと思って入ってきていないし、だんだん皆様と親睦を深めていく中で奉仕をしてきました。もちろん20代、30代で奉仕を目的にロータリーに入ってくるかたもいらっしゃると思いますが、それよりその時間は一生懸命仕事をしなさいといいたいのが正直な気持ちです。仕事をしたほうが地域社会のためになりますので、そういう意味で奉仕や目的よりも親睦を深めていきたいと思っております。2月にIMを開催いたしますが、第4グループの盛大な親睦を目的とした都市連合会を開催したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、ロータリーの良いところということをお話しさせていただきます。私はロータリーに入りまして15年になるのですが、いろいろな団体を経験してきました。その中でロータリーの良いところというのはメーカーがあるということだと思います。東京ロータリークラブにホリエモン（堀江貴文）が入ろうとしたときに却下されました。なぜ却下されたかということ、高潔性がないからです。いくらお金がありましても、ロータリーに入れないのですね。ところが、ロータリーは人数が少なく

ても、入れば東京ロータリークラブのメーキャップもできる。世界どこのロータリークラブでもメーキャップできるというのは、ディズニーランドのフリーパスポートと同じくらい価値があると思います。皆さん方は、ホリエモンが入れない東京ロータリークラブの世界に、事務局に申請すれば堂々とメーキャップのための席を用意していただいて例会に出られます。東京ロータリークラブに行きますと、私は何回か言っておりますが、本当に凄いです。皆様方は動物園に行くというのが楽しいかもしれませんが、私は人間ウォッチングが一番おもしろいと思っております。東京ロータリークラブ行きましたときに、三村日本商工会議所会頭が歩いて来るのを見て、割と背が大きい人なのだな…。歩き方を見ると、あと5、6年したら歩けなくなるな…というようなウォッチングすると非常に面白いです。東京ロータリークラブというのは、テーブルチーフというかたがいらっしやいまして、その人が仕切っていきます。私が5年くらい前に東京に行ったときに、隣にJTBの田川博己会長がいらっしやいまして、何かあったら遠慮なく声をかけてくださいといわれました。3年くらい前に五十嵐年度に幹事をやった関係で卓話をお願いしましたら、ちょっと日程が調整できずお呼びすることができませんでした。今年の一月に地区の職業奉仕委員長も兼ねておりまして、お呼びしたら来ていただけました。そのJTBの会長さんはどういう人かという、我々ロータリアンは普通に話しますが、私どもが移動例会で北海道や金沢などに行くときにJTBにお願いするのですが、JTBの社員に「先日田川さんにお会いしました」といいましたら、私たちは会ったことも話しをしたこともないというのです。もう神様ですね。そのかたに、ロータリーに入ることによって一緒にお話しができる。一月にお越しいただいたときに、熊谷ロータリーにJTBの支店長さんが会員でいらっしやいまして、副支店長さんと二人で例会に来ました。田川さんにお会いしたいということで、講演の前に控室でお話しをしていましたが、正座でお話しを聞いていました。やっぱりすごい人なのだなと思いました。ハイヤーでいらっしやったのですが、講演が終わり、またハイヤーに乗ったときに、そのJTBの支店長と副支店長が頭を下げっぱなしでした。田川さんが帰るときに窓を開けて、「金井さん、何かあったらまた遠慮なく言ってください」と仰いました。そのくらい、ロータリーに入るというのは、いろいろな意味で本当にすごい。だから、ぜひメーキャップをしていただければ良いと思います。ロータリーの魅力はメーキャップだと思いますので、ぜひこれからメーキャップをしていただければと思います。

最後の信用についてお話しをさせていただきます。私は渋沢栄一さんが大好きなので、渋沢栄一さんのお話しをさせていただきます。渋沢栄一さんは、お金がなければ事業や商売ができないと思っている人がいるが、それは大きな間違いなのだとことを言われております。

信用があれば何でもできるということですね。皆さん、渋沢栄一が銀行を作ったというのはご存じだと思いますが、渋沢栄一が銀行を作るときに非常に苦勞をしたのです。まず日本に銀行がなかったので、お金を預けたら取られてしまうのではないかと、返ってこないのではないかと。苦勞に苦勞を重ね、最後に渋沢栄一が言っているのだから大丈夫だろうということで、銀行業が始まっていくわけですね。商売をするのなら銀行を作れば一番簡単なことで、そういう意味で、いろいろな地方の銀行を作るときに渋沢栄一が取締役に入っていれば信用があるから、各地域で銀行の設立が始まった。普通、お金を借りるときには保証人や連帯保証人をつけてほしい、担保をつけてほしいといわれます。その人に信用がないから言われるわけでありまして、信用があればその必要性がないわけですね。その信用をつけるにはどうしたらいいのかという話しです。それは、ロータリーの四つのテストを実践することです。これは渋沢栄一が「論語と算盤」で同じことを言っています。これは、仕事に関するものが四つのテストでありまして、日常生活のことに四つのテストを考えている会員のかたがいらっしやいしますが、それはちょっと違います。あくまでも仕事業です。

最初に「真実かどうか」とありますが、日常生活において真実で話したら喧嘩になってしまいますし、夫婦間でもし真実を話したら、すぐ離婚されるかたもいらっしやるのではないかと思います。これはあくまでも仕事のことであります。そして「みんなに公平か」これを追及していくと共産主義になってしまいます。そして「好意と友情を深めるか」これは小学生ではないので、町を歩いている人に深めても何の意味もない。あくまでも仕事のことであります。「みんなのためになるかどうか」ということは、キリスト以外、人間を超えなければ、みんなのために生きるなど無理なわけでありまして、では、仕事上で「真実かどうか」ということですが、今から10年くらい前に北海道でお肉を寄贈した人がいまして、あのかたが記者会見をしたときにロータリーバッヂをつけていたのです。ロータリアンも真実かどうか、嘘偽りがないかということをやっていないということです。それと、船場吉兆という料亭が一度出したお魚にお客が手をつけなかったら、再度温め直して出したという、そういう偽りをすると企業は潰れます。もちろん三菱も日産もそうです。先日報道されました回転寿司のスシローもそうです。拡大広告とか、ああいう嘘偽りのないことをするのが真実かどうかということによって理解していただければと思います。また、「みんなに公平か」というのは、取引先、社員みんなと富の分配が公平にできているかということでもあります。近くにヤオコーというスーパーがありまして、仕事の関係でかかわったことがあるのですが、13年くらい前に50周年の記念式典がありまして、そのときに会長が持っている株の半分を全社員にあげました。それは、社員や勤めた年数によって

比率が違うのですが、パートの人たちにもあげた。今までパートの人たちは働かなければ得られなかったものが配当で得られたのです。自分たちが一生懸命頑張れば配当が入るのだ。お店の雰囲気が一気に変わりましたね。50周年のときに売上高が2000億あったものが、今は4500億になりましたし、株も当時2500円くらいだったものが、8000円くらいになりました。なので、半分を配当に回しても、それ以上に増えたことになります。だから、皆さん方が今、商売をやっている中で富の分配をするというのがみんなに公平かということを考えていただければいいのかと思います。そして、「みんなのためになるかどうか」ということですが、これは渋沢栄一が70歳の時に500くらい作った会社をすべて後輩に譲り、財閥を作らなかったことによって第二次世界大戦のときにGHQの没収を逃れ、今日のように渋沢栄一が作った大手企業280社すべてが残っている。ですから、そういう意味で本当は「論語と算盤」を学んで実践すればいいことなのですが、四つのテストは同じことを言っておりますので、ぜひこれから皆様方も四つのテストを実践していただきたい。

四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラーは1932年に破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。社員を食べさせるにはどうしたらいいかということで21の項目がまとめられました。その21の項目を実践するのは大変だということで、いらぬものを削って、残ったのが四つ。ですから、この四つは非常に意味があるので、一番効率が良いですから、この四つを実践してください。

また、皆さん方はこの四つのテストを実践するだけでなく、社員の皆さんにもこの四つのテストを伝えることが会社を永遠に存続、発展させることに繋がりますので、ぜひ今後実践していただければと思います。

このあとクラブ協議会がごございますので、この辺で閉じさせていただきます。今日は本当にありがとうございます。お世話になりました。

津久井大雄会長

金井ガバナー補佐さん、ためになる話しをありがとうございました。うちもよく「真実かどうか」ということで、夜になると女房から「真実かどうか、あなた本当のことを言いなさい」といわれますが、「私は嘘をついていません」といいながら、ほとんど嘘をついているような感じがありまして、家庭では失格でございます。

これで例会は閉会いたしまして、そのあとクラブ協議

会に移りたいと思います。皆様方、よろしく願いいたします。協議会ですが、三つのテーブルに分かれて行ないます。松本幹事から話しがありましたが、議題に沿って話しを進めていただき、それをまとめていただいて事務局に提出してください。それを会長、幹事でまとめまして、地区のほうに提出いたします。27日の村田ガバナー公式訪問のときに、それを元に話し合えればいいと思いますので、よろしく願いいたします。

点鐘 会長 津久井 大雄さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2022.7.13 会長 津久井大雄 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 2 幹事 松本 則之 副委員長 吉田 昌弘

・例会日時 毎週(水) 12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530